

■概要

第2歌集『獨（ひと）り歌へる』は、園田小枝子との恋愛模様を収めた歌集です。恋の絶頂期から始まり、懷疑、落胆そして絶望という二人の関係が大激変した時期です。今回は15冊発行された牧水歌集の中で、最も内面の変化を味わえる第2歌集に注目してみました。

自然歌人、旅の歌人と称されることが多い牧水ですが、熱き恋の葛藤を描いた恋愛歌人でもあります。若き牧水が全身を賭して詠い上げた「命の碎片」を、存分に味わっていただければと思います。



園田小枝子

注目ポイント!

今回の企画展では、激しく詩情を揺さぶられる中で詠んだ551首を、時期や背景によって「わが妻は」「みづからを欺く」「恋の終り」など8つに区分して紹介します。それぞれに特徴のある歌の構成ですが、特に絶望のどん底にあった明治42年春ごろの「恋の終り」は、自分も周りの景色もすべて悲しみの語で表現されています。

第2歌集は発行部数が200部ほどだったので、現存数が極めて少ない歌集です。今回この歌集を複製しました。会場で手に取って自由にお楽しみ頂けます。希少歌集を直接味わえる、またとない機会です。

注目ポイント!

皆様のお越しをお待ちしております。

■会期

平成29年2月18日（土）～4月23日（日）

■会場

若山牧水記念文学館企画展示室

■お問合せ先

TEL(0982)68-9511